

## I 2020 年度事業計画・収支予算

### 1. 2020 年度 重点事項

(1) 没後 90 年となる今、まるで渋沢栄一が生き返った様に国民の注目を集め、今もなお渋沢栄一の精神が必要とされ続けていることを真に問い直し活動する。

イ. 新しく生まれ変わった常設展示の普及と、未だ生き続ける渋沢栄一の精神と行動を改めて問い、検証する。

2. 研究センター

(1) 重点事項

イ. 『渋沢栄一と「フィランソロピー」』シリーズ出版を着実に行う。

ロ. 「論語とそろばん」に関する新規プロジェクト準備に着手する。

(2) 事業内容

イ. 寄付講座

(イ) 華中師範大学寄付講座

ロ. プロジェクト研究成果の出版

(イ) 比較思想プロジェクト

(ロ) フィランソロピーシリーズ出版

(ハ) 産業技術導入における実業家のリーダーシップ

ハ. 渋沢栄一研究の促進

(イ) 論語とそろばんセミナー

(ロ) 合本主義

(ハ) 儒商会議

(ニ) 協賛・助成・支援事業

ニ. 新規プロジェクト準備費

ホ. 運営費

3. 情報資源センター

(1) 重点事項

イ. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』  
全文公開へ向け、別巻第 1～4 の公開準備

ロ. 渋沢栄一関連会社名・団体名変遷図  
社会公共事業変遷図追加公開開始

ハ. 実業史錦絵絵引  
国際規格「IIIF」を採用した「絵引ギャラリー」のリニューアル

(2) 事業内容

イ. 各種情報源の開発

(イ) 社史プロジェクト

A. 渋沢社史データベース (SSD) / 変遷図  
SSD: 定期更新ほか/変遷図: 変遷調査、データ追加・修正

B. 企業史料プロジェクト  
ビジネス・アーカイブズ振興のため、ベストプラクティスの調査・発信。メールマガジンによる知識・理解の普及。デジタル記録に関する情報の収集・発信ほか。

(ロ) 実業史錦絵プロジェクト  
実業史資料として特色のある錦絵および渋沢栄一関連絵葉書の蒐集・整理・情報資源化

A. 実業史錦絵蒐集  
実業史を描いた幕末・明治期の錦絵の蒐集・整理

B. 錦絵・絵葉書の情報資源化  
「IIIF」を採用した「実業史錦絵絵引」のリニューアル第 2 弾  
画像リポジトリによる絵葉書画像の公開準備

(ハ) 渋沢関連情報資源の開発
A. 「渋沢栄一情報資源専用プラットフォーム」保守/サーバ移転
B. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』 著作権処理、利便性向上、別巻の公開準備
C. 渋沢栄一関連コンテンツ更新・維持
D. 渋沢栄一関連情報データベースの更新・整備
E. 財団刊行物の情報資源化 機関リポジトリ設置準備、刊行物デジタル化、記事索引作成

ロ. 実業史研究基盤整備
(イ) 実業史研究基盤整備 実業史研究に資する参考資料の購入及び目録データベースの整備、調査・研究用データベース購読など
(ロ) 国際協力活動、ネットワーク構築 国際会議 (EAJRS、ICA/SBA) 参加の旅費、会費など
(ハ) 環境整備 備品・ソフトウェア購入、通信運搬費、交通費、教育訓練費、ウェブページ更新、ブログなど

ハ. 協力事業
(イ) 渋沢敬三 50 年記念事業 ウェブサイト「渋沢敬三アーカイブ」維持・管理

4. 学芸課

(1) 重点事項

イ. 2020 年 11 月までの完成をめざし渋沢史料館リニューアルの設計にもとづき、展示等の 2 期制作・工事を実施する。

(2) 事業内容

イ. 資料整備  
資料の保存及び活用という観点から、具体的に次のような作業を行う。

(イ) 虫、黴対策 (収蔵庫・書庫・展示室等)
(ロ) 代替資料の作成
(ハ) 資料整理及び保存用品
(ニ) 館内環境調査
(ホ) 建築物保存
(ヘ) 資料の外部倉庫保管

ロ. 展示  
渋沢栄一の事績・思想及び生きた時代等、周辺を伝える展示を行う。

(イ) 常設展示の展示替え (年譜展示・テーマ展示・青淵文庫等)
(ロ) 企画展 (2020 年度秋季・春季/2021 年度準備)
(ハ) 収蔵品展
(ニ) エントランス展示

<p>ハ. 教育普及事業                  学校単位での来館への対応や依頼を受けての出張授業、また出張講演などの学習支援をはじめとして、他館等との連携による事業も実施し、より深く、広く渋沢栄一の事績・思想を伝える。史料館と来館者、また来館者同士のコミュニケーションの場となることも期待している。</p>	
(イ)	学習支援（出張授業・講座）
(ロ)	青淵忌（渋沢栄一命日記念企画）
(ハ)	重要文化財の保存と活用
(ニ)	3 館合同 （クイズラリー・区民まつり・一日大学）
<p>ニ. 図書等の刊行                  渋沢栄一の事績・思想及び周辺事象や史料館活動を広く知ってもらうため、または記録として残すために図書類を刊行する。</p>	
(イ)	年報
(ロ)	渋沢研究 33 号
(ハ)	館内配付印刷物
(ニ)	渋沢栄一漢詩訳注本
(ホ)	常設展示図録・ガイドブック
<p>ホ. 資料収集                  国内・外における渋沢栄一及び周辺事象に関する資料（原資料だけでなく、2 次的媒体に変換されたものも含む）・情報（関係資料の所蔵先、関係の出版物、研究発表、聞き取り情報等）を集積する。</p>	
(イ)	資料購入
(ロ)	図書購入
(ハ)	渋沢栄一関係記事収集

<p>へ. 調査・研究</p> <p>史料館（学芸）活動の基底部分をなすものであり、不断の綿密な調査・研究の成果の蓄積が今後の博物館活動の深化へとつながるものである。さらに、調査・研究の一環として、資質の向上を含めた意味で各種研究会、学会、研修会へも参加する。</p>
(イ) オーラルヒストリー
(ロ) 大会・学会等参加
(ハ) 博物館視察
(ニ) レファレンス対応
(ホ) 「穂積歌子日記」翻刻
(へ) 渋沢栄一邸関係調査
(ト) 『徳川慶喜公伝』調査研究
(チ) 渋沢栄一漢詩訳注制作

ト. 史料館運営
(イ) 運営サポート・広報等
(ロ) 販売物購入・配布物及び消耗品等
(ハ) 旅費・交通費・通信費等
(ニ) 備品・修繕・環境整備等

チ. その他
(イ) 国指定重要文化財 晩香廬・青淵文庫内部公開
(ロ) ミュージアムグッズ製作
(ハ) 研究等支援・補助

公益財団法人渋沢栄一記念財団 2020年度事業計画及び収支予算

2020年度 正味財産増減計算予算

(単位:千円)

科 目	2020年度						
	公益目的事業会計					法人 会計	合計
	公1	公2	公3	共通	公益 目的 事業費 計		
I 経常増減の部							
1.経常収益							
(1) 財産運用収益	0	0	0	308,496	308,496	31,389	339,885
(2) 会費収益	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000
(3) 事業収益	500	0	12,280	0	12,780	0	12,780
(4) 寄付金・補助金収益	0	0	0	5,000	5,000	0	5,000
(5) 雑収益	0	0	0	100	100	0	100
経常収益計	500	0	32,280	313,596	346,376	31,389	377,765
2.経常費用							
報酬・給与	18,190	29,640	85,316	0	133,146	10,577	143,723
法定福利費	1,643	5,442	5,844	0	12,929	1,568	14,497
福利厚生費	371	870	2,944	0	4,185	489	4,674
水道光熱費	593	1,521	3,582	0	5,696	504	6,200
リース料	391	2,005	2,639	0	5,035	415	5,450
維持管理費	811	2,427	5,605	0	8,843	1,157	10,000
賃貸料	154	387	896	0	1,437	163	1,600
臨時雇賃金	0	5,370	4,000	0	9,370	0	9,370
消耗品費	339	199	1,525	0	2,063	148	2,211
教育訓練費	72	123	40	0	235	25	260
通信運搬費	552	864	5,232	0	6,648	200	6,848
交通費	608	792	1,147	0	2,547	301	2,848
旅費	2,677	1,342	681	0	4,700	0	4,700
広報費	965	899	3,347	1,039	6,250	0	6,250
会議費	3,123	96	591	0	3,810	850	4,660
渉外費	1,150	50	330	0	1,530	700	2,230
備品費	80	360	560	230	1,230	250	1,480
新聞図書費	13	25	43	0	81	19	100
修繕費	107	213	573	257	1,150	50	1,200
倉庫保管費	0	0	950	0	950	0	950
支払手数料	331	162	523	76	1,092	23	1,115
租税公課	0	0	0	0	0	50	50
支払保険料	86	212	301	211	810	30	840
諸会費	148	335	472	197	1,152	48	1,200
支払報酬	167	834	582	0	1,583	1,717	3,300

公益財団法人渋沢栄一記念財団 2020 年度事業計画及び収支予算

業務委託費	2,540	5,953	25,422	0	33,915	1,835	35,750
謝礼金	2,190	2,000	1,060	0	5,250	1,000	6,250
図書資料購入費	630	300	800	0	1,730	0	1,730
資料購入費	0	100	1,500	0	1,600	0	1,600
調査研究費	250	1,066	800	0	2,116	0	2,116
資料整備費	0	1,332	3,260	0	4,592	0	4,592
図書刊行費	4,450	0	19,800	0	24,250	0	24,250
販売物購入費	0	0	2,000	0	2,000	0	2,000
展示制作費	0	0	5,940	0	5,940	0	5,940
事業企画費	0	0	0	0	0	0	0
原稿料	0	0	5,400	0	5,400	0	5,400
補助・支援費	2,000	0	1,900	0	3,900	0	3,900
関連事業費	300	0	200	0	500	0	500
助成金支出	0	0	0	0	0	0	0
PC 関連費用	35	2,420	123	71	2,649	101	2,750
デジタルコンテンツ制作費	0	5,350	0	0	5,350	0	5,350
Web ページ制作費	27	1,894	94	51	2,066	25	2,091
雑費	480	100	0	0	580	0	580
賞与引当金	574	1,843	1,567	0	3,984	497	4,481
減価償却費	0	0	0	113,686	113,686	6,314	120,000
退職給付費用	1,245	1,929	6,057	0	9,231	390	9,621
役員退職慰労給付	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	47,292	78,455	203,646	115,818	445,211	29,446	474,657
評価損益等調整前当期経常増減額	-46,792	-78,455	-171,366	197,778	-98,835	1,943	-96,892
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
3. 当期経常増減額	-46,792	-78,455	-171,366	197,778	-98,835	1,943	-96,892
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-96,892
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	13,423,056
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	13,326,164
IV 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	13,326,164